

# 感染症発生状況

令和8年7月30日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和8年7月20日（月）～7月24日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,502名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】254名 【職員】0名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】64名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（101名）、咳鼻水（44名）、下痢腹痛（21名）、発疹（21名）

疾病別：手足口病（83名）、ヘルパンギーナ（5名）、突発性発疹症（4名）、  
胃腸炎（4名）

【職員】症状別：なし

疾病別：なし

**手足口病はまだまだ衰えを示していませんが、その他の感染症は落ち着いています。  
手洗いを励行しましょう。**

## 【疾病別の発生状況】

手足口病 厨川地区、河北地区、河南地区、都南地区で増加しました。

ヘルパンギーナ 河北地区、都南地区で増加しました。厨川地区で減少しました。

突発性発疹症 盛南地区で増加しました。河南地区で減少しました。

胃腸炎 玉山地区で増加しました。

## 【県の状況（7/13～7/19）】

手足口病の定点当たり患者数は4.44人となり、前週の2倍以上に増加しました。二戸、県央、久慈地区で警報値（5.0人）を超えています。本症は口の中や手足に水疱を伴う複数の発疹が現れます。子供を中心に主に夏に流行するウイルス感染症です。飛沫感染、接触感染、糞口感染で広がります。乳幼児が集団生活をする保育施設や幼稚園では特に注意が必要です。予防には、石けんと流水による手洗いの励行、タオル等の共用を避ける、おむつ交換時等の排泄物の適切な処理が有効です。

腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例ありました。主な症状は腹痛、水様性下痢及び血便です。溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症等の重症合併症を引き起こすことがあり、死亡する場合があります。小児や高齢者では特に注意が必要です。予防には流水と石けんによる手洗いの励行を。また、食中毒を防ぐため、十分な加熱調理等、食品の衛生管理をしましょう。

夏休みに海外旅行する際は、渡航先で流行している感染症情報を事前に確認のうえ、対策を講じることが重要です。特に麻しんは海外での流行が継続しており、注意が必要です。あらかじめ、厚生労働省検疫所ホームページ FORTH 等を確認し、情報収集と対策をしてください。帰国後に発熱等の症状が見られた場合は、医療機関に渡航歴を伝えることも重要です。

## ◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】